

はじめに

平成24年第3回登別市議会定例会の開会にあたり、2期目の市政執行に臨む私の基本姿勢と所信を申し上げ、市民の皆さん並びに市議会議員の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

私は、去る8月の登別市長選挙におきまして、多くの方々から温かいご声援をいただき、再選を果たすことができました。

登別市の舵取りを引き続き担う重責に身が引き締まる思いであるとともに、これまでの4年間の取り組みを温かく支え続けてくださった登別市民の皆さんを始めとする各方面の方々への深い感謝の念を噛みしめております。

投票結果という目に見える叱咤激励を得ぬまま2期目のスタートを迎えることは、私にとって大きな挑戦であります。全ての登別市民の皆さんの思いを自らの双肩に受け止めるべく、これまで以上に現場主義を徹底し、常に市民の皆さんの気持ちを感じることが大切にならぬと、緊張感を持って市政に取り組んでいかなくてはならないと考えてお

ります。

1期4年間の振り返り

私は、1期目就任時の所信として、次の3つを基本に、4年間の市政運営にあたることを表明しました。

第一は『市民力の結集による開かれた行政運営』であります。

まずは『市民力』を結集する環境整備として、市民活動の拠点たる市民活動センターを設置し、市民の皆さんが主体的にまちづくりや生きがい

づくりに取り組める素地を形成しました。

また、多様な主体がまちづくりに参画するよう、『通学合宿みんなで学ぶ子ども村』では、家庭・学校・地域の連携強化を図り、『登別地獄まつり半世紀記念事業』では、温泉地区のみならず市内全域で地獄まつりを盛り上げていただくなど、各般にわたり

『市民力』発揮の機会を創出し、市民の皆さんにまちづくり活動に携わるきっかけを提供できたと考えております。

今後は、より一層自立的な

まちづくり活動の展開に向け、まちづくり団体の連携促進や自発的なまちづくり活動への支援など、『市民力』の成長・発展が重要な課題であると感

じております。

第二は『地域力を活かした地域経済の活性化』であります。

リーマンショック後の経済危機により停滞していた市内経済の活性化を図るため、プレミアム商品券・建設券の発行支援を通じ、市民の購買意欲などを刺激し、資金の域内循環を促すとともに、市内の

まちづくり団体などの皆さんのご協力の下、『登別ブランド推進協議会』を立ち上げ、地場産品の高付加価値化や流通促進などの支援を行い、昨年以後は東日本大震災の影響なども重なる苦境下ではありましたが、市を挙げて地域経済を後押しする機運を高めるよう努めました。

観光については、減少する国内旅行者やアジア各国からのインバウンドの拡大、滞在型観光の振興など広域観光圏の枠組みにおける各種取り組みの推進と合わせ、市内観光関連企業の誘客活動とも連携し、観光客数の落ち込みを抑制することができ、復活の兆しも見え始めております。

今後は、人口減少・少子高齢社会を見据えた持続的な地域経済の発展を期するため、基幹産業である観光を中心とした各産業への経済効果の波及を主として、『地産地消』『域内循環』に寄与する新たな仕組みの構築など、自立的な経済活性化に向けた取り組みが重要であると考えております。

第三は『市民の暮らしを大切にしたいまちづくり』であります。

市長所信表明

五つの信条

9月13日(木)、『平成24年第3回登別市議会定例会』が開かれ、小笠原市長が2期目就任にあたり、市政執行に對する所信を表明しました。今号では、所信表明の全文を掲載します。